

2020 年度 OSIPP における経済学科目の履修と、データ分析科目の履修

2020/6 OSIPP 経済系科目担当教員

これは、OSIPP における経済学的な分析手法を身につけようと考えている人、および法学・政治学を主な分析手法とする予定でデータ分析について学びたいと考えている人向けの履修ガイドです。

- ・ 経済学的分析の科目、データ分析に関する科目は、積み上げで学んでいくことを前提に設計されています。全ての経済学的分析の基礎となる分析手法をミクロ経済学系統とマクロ経済学系統の科目で学び、データ分析に関する手法を計量経済学系統の科目で学びます。
- ・ 国際経済学、公共経済学、開発経済学、労働経済学、政治の経済学、産業組織論、行動経済学といった個別の応用分野は、その基礎の上に成り立っています。従って、個別の分野を学習する前に、基礎的な分析手法を学習することを強く推奨します。
- ・ また、以下の TA による補講、経済数学、Social Science Research Method は、全ての経済学系統の科目の基礎となるため、予備知識のあるなし、また日本語・英語の流暢さに関わらず、必ず履修・出席することを強く推奨します。

経済学系科目の標準履修スケジュール（経済系科目の予備知識を持たない場合、2020 年度版）

春夏学期:

- ・ TA による統計 & 数学 & STATA の補講、経済数学、ミクロ経済分析 I、Econometric Methods I
 - 既に学部中級レベル以上のミクロ経済学の知識がある、または博士後期課程進学を念頭においている場合は、Microeconomic Theory の履修も推奨する。

秋冬学期:

- ・ Social Science Research Method、計量データ分析 I、計量データ分析 II、ミクロ経済分析 II、マクロ経済分析、Data Management & Analysis、Econometric Methods II
 - 既に学部中級レベル以上のマクロ経済学の知識がある、または博士後期課程進学を念頭においている場合は、Macroeconomic Theory の履修も推奨する。

・ とくに、以下の教員を指導教員に希望する人は、上記標準履修スケジュールの科目（またはその代替となる経済学研究科提供の科目）を全て履修することを強く推奨します。

- ・ 赤井、石瀬、大槻、鎌田、北村、小原、高橋、瀧井、松繁、松林、室岡
- ・ 経済学研究科、社会経済研究所所属の教員

・ 学部生の間に上記科目のうちいくつかを履修し既に学部中級レベル以上の知識がある人は、上記科目の代わりに、経済学研究科が提供する「ミクロ経済基礎、マクロ経済基礎、計量経済基礎」または「ミクロ経済Ⅰ・Ⅱ、マクロ経済Ⅰ・Ⅱ、計量経済Ⅰ・Ⅱ」の履修を推奨します。その場合も、ミクロ経済分析Ⅰ・Ⅱの代わりに経済学研究科のミクロ経済Ⅰ・Ⅱを履修する、といった具合に基礎３系統のバランスに注意してください。基礎３系統と提供科目のレベルの目安は下表を参考にして下さい。

レベル	ミクロ経済学	マクロ経済学	計量経済学
学部中級/ 大学院入門	TA による統計 & 数学 & STATA の補講 経済数学 Social Science Research Method		
	ミクロ経済分析Ⅰ・Ⅱ	マクロ経済分析	計量データ分析Ⅰ・Ⅱ Data Management & Analysis Econometric MethodsⅠ
学部上級/ 大学院	Microeconomic Theory ミクロ経済基礎 ミクロ経済Ⅰ・Ⅱ	Macroeconomic Theory マクロ経済基礎 マクロ経済Ⅰ・Ⅱ	Econometric MethodsⅡ 計量経済基礎 計量経済Ⅰ・Ⅱ

・ 法学、政治学を専門とする予定で、データ分析についても学びたいと考えている人は、Social Science Research Method および上記のうち計量経済学系統の科目（TA 補講、計量データ分析Ⅰ・Ⅱ、Data Management & Analysis、Econometric MethodsⅠ・Ⅱ）を必要な段階に応じて履修することを勧めます。